

ぎょうだ

自治連だより

～親しみやすい自治会・そしてもっと身近な自治会～

第94号

編集・発行
行田市自治会連合会
広報部 会

令和6年度 事業計画《重点実施事項》

- (1) 市民の防災意識を高めるために、みんなで考え創造する地区防災事業の実施を推進する
- (2) 研修のあり方について検討する

自治会役員のなり手不足

行田市自治会連合会

会長 小池 利昌



自治会に役員のなり手がいないというのは、今多くの自治体で抱える悩みです。その結果、同じ人が長期に渡って役員を務めている地区や、自主的に出てくれないなら強制的に出てもらうしかないという輪番制にして一年交代にする地区があります。そのため自治会の役員は、長期固定型と短期交代型という二極に分かれる傾向が見られます。健全で活力のある組織を運営するという点では、どちらも問題があります。

自治会での意義を認めるなら、組織運営に欠かせない役割を担うのは、会員の義務です。それができない社会的背景には、

- 一、仕事が多忙で役員を務める余裕がない。
- 二、職場と違い異質な人たちの集まりである地域に馴染めない。
- 三、意欲はあるが自治会の意義を実感できない。

といったことが想像できます。任期の問題は、一年交代では新しい仕事ができないという

声を聞きます。せめて二年の任期で、三期ぐらいまで務められる仕組みにすると良いと思います。副会長が、翌年に会長になるという方式なら、役員体制として安定し、継続性も保てます。輪番制は組長レベルまでいいのですが、ある程度の規模以上の組織では無理で、無責任な運営になる恐れがありますので避けるべきでしょう。小さな自治会では、会長の雑用のため、家

族も動員し事務全般の処理に当たるところが多いのではないのでしょうか。これではますます役員のなり手がなくなります。

会長は自治会を代表する地位ですから欠員というわけにはいきません。会長は会長にしかできない仕事に集中してもらい、ほかの仕事は他の役員の方に担当してもらいたいものです。

地区連合会長紹介

忍地区	栗原 光夫	(本丸)
-----	-------	------

自治会連合会組織紹介

役員及び各部会員と取組みを紹介します

会長

小池 利昌（本町）

顧問

阿久津彰男

（前自治連合会長）

副会長

高島 和子（小針）

萩原 実（富士山西）

栗原 光夫（本丸）

長岡 幸雄（二佐間）

総務部会

部長

萩原 実（富士山西）

副部長

森田 敏一（荒木上宿）

取組み

単位自治会、自治会連合会についての調査・研究をすることを目的とし、他の部会に属さない広範囲における自治会の運営等について協議しています。

研修部会

部長

高島 和子（小針）

副部長

江原 史郎（三持田東部）

取組み

自治会連合会として行う、自治会長などを対象とした各種研修の計画立案及び実施方法について協議する部会です。



令和5年度実施 自治会長研修

広報部会

部長

栗原 光夫（本丸）

副部長

高島 茂夫（林区）

取組み

単位自治会及び自治会連合会の活動について、市民に広報することを目的とし、「自治連だより」の編集・発行について協議する部会です。



自治会運営課題検討委員会

概要

自治会連合会理事をメンバーとして、単位自治会が抱える様々な課題を解決するために設置し、5つのグループで、各地域の現状把握・問題解決に向けた方策の調査研究を行っています。

検討テーマ

- ・単位自治会役員等の担い手不足
- ・単位自治会役員等の手当取扱い
- ・自治会加入率向上に向けた取組み
- ・自治会推薦職の取扱い
- ・自治会連合会表彰及び弔慰金の規程の見直し



検討委員会 協議報告会

自治会加入者増加への施策

この所自治会加入者が減っていることは確かです。菅谷自治会として特別に施策は取っていませんが、ただ、地域住民から意見を聞き、少しでも解決できるように答えていくことに気を付けています。

菅谷自治会も一人暮らしや高齢者の方も多くなり、また、集合住宅も多く、人の出入りが完全に把握できないのが現状です。自治会役員のなり手もないのも事実です。お互いに情報交換を行いながら、連携を取っております。

持田地区菅谷自治会
会長 新井 教弘

能登半島地震災害義援金集計報告

義援金は、日本赤十字社を通して被災者の皆様に寄付いたしました。

皆様のあたたかいご協力に感謝申し上げます。

合計金額

4,997,293円

新任
自治会長所感

自治会長に就任して

北河原地区酒巻下自治会

会長 中村 文保

グローバル化の波と自由教育の歪んだ解釈により、無責任な誹謗中傷が始まり、地域社会の変化とともに多様な問題が浮き彫りになっています。このような状況下、温かみのある地域社会創造の鍵は、顔の見える自治会活動だと思います。自治会長となったことで、生まれ育った地域への思いは一



自治功労者表彰

令和6年5月25日(土)に開催された定期総会において、自治会に対する功労顕著な方30名を表彰いたしました。
また、自治会連合会の運営・発展に尽力された方23名に感謝状を贈呈いたしました。

表彰状

◎自治会長として10年以上在職の方

横田 範博 (三桜北部自治会)
羽鳥 嗣郎 (中里自治会)

◎自治会長及び副会長として10年以上在職の方

代 祐司 (二持田第一自治会)
河辺 孝幸 (第一斉条自治会)
岩永 照夫 (第二谷郷新田自治会)
山内 正好 (二桜自治会)
栗原 三郎 (第三門井自治会)
白石 賢二 (藤原町東部自治会)

◎自治会長、副会長及び会計として10年以上在職の方

山田 武 (一桜親交会)
鎗田 和男 (荒木第四区自治会)
平岩 満 (城南自治会)
篠崎 貴史 (第二旭自治会)

小林 正之 (佐間三間自治会)

吉田 昌義 (第二谷郷東第二自治会)

三國 三郎 (谷郷小橋団地自治会)

倉持成一郎 (一桜親交会)

田中 恵二 (富士見西部自治会)

栗原 彪 (田幡会)

山口 純一 (林区自治会)

小河原宏之 (荒木第四区自治会)

田島 邦幸 (中里自治会)

◎副会長及び会計として10年以上在職の方

吉田 明正 (城南自治会)

服部 賢次 (第二谷郷新田自治会)

小林 啓一 (第二谷郷東第二自治会)

加藤 誠一 (中里自治会)

◎会計として10年以上在職の方

大塚 康弘 (下町自治会)

</